

健康保険証の存続、マイナンバーカードへの一本化の中止を マイナンバーカード暴走を止めよう

- トラブル続出、不安噴出を無視したマイナンバー法改悪強行は許されない
- 命にかかわる健康保険証の廃止をやめ存続を

日本共産党アピール(項目)

- マイナンバーカード暴走をやめ、完全・確実な総点検を
- マイナンバー制度の廃止を含む白紙からの見直しを

(全文は「赤旗」日刊紙12日付、共産党ウェブサイトで)

マイナ問題全容解明を

小池書記長 予算委の集中審議要求

共産党の小池晃書記局長は18日の記者会見で、マイナカードトラブルについて「国民的な不安・不信が噴き上がっている。一方で政府からはまともな説明がされておらず、国会の責任で全容解明をする必要がある」と述べ、衆参両院予算委員会での集中審議を求めました。

世論調査で保険証廃止の「延期・撤回」の声が8割近くになっていることについて小池氏は「岸田政権に少しでも『聞く力』があるなら、保険証存続を決断すべきだ」と述べました。



記者会見する小池書記局長=18日

折り目

総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

日本共産党



元参議院議員、新46 たつみやま たかひろ



党京都府常任委員、新36 堀川 あきこ (京都2区選挙区)



衆議院議員2期、前55 清水 ただし



党兵庫県常任委員、新47 こむら つね彦 (兵庫8区選挙区)

制度解説

衆院選挙投票方法

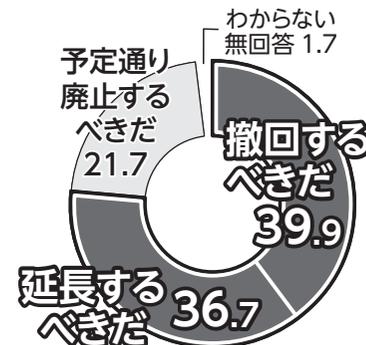
比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

保険証廃止 「撤回」「延期」 77%

「共同」世論調査

健康保険証をマイナンバーカードに置き換え、来年秋に廃止する政府方針のもとでトラブルが続出しています。共同通信社の世論調査では、政府方針の「延期」「撤回」は76.6%で、前回調査から4.5%増。カードを将来保有することを否定する回答は、60歳以上では38.8%にのびりました。



「共同」世論調査(14~16日)

各紙の社説

読売新聞	「一本化するのは無理 廃止方針いったん凍結」(6/7)
朝日新聞	マイナ保険証 「一本化」強行許されぬ(6/9)
毎日新聞	混乱続くマイナカード 拙速排し立ち止まる時(6/9)
産経新聞	マイナカード混乱 「普及優先」を見直す時だ(6/10)

田村智子事務所作成

「読売」方針凍結「毎日」立ち止まる時

読売新聞は「保険証の廃止見直しは今からでも遅くない」と題した社説を掲載。マイナンバー制度推進派の「読売」が「廃止方針いったん凍結」を求めたことは衝撃的でした。全国紙・地方紙も同様の主張を展開しています。

マイナカードトラブルの拡大は岸田内閣を直撃し、支持率も急落しています(「朝日」は5%減の37%→15、16日調査)。国民の支持を失った保険証廃止は中止すべきです。

日本共産党

近畿民報

2023年7月No.4(第560号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。